

2018 年 8 月 14 日

関係各位

千代田化工建設株式会社  
IR・広報・CSR 部**袖ヶ浦市で 7.5 万 kW バイオマス専焼発電所の EPC 業務を受注**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、代表取締役社長:山東 理二、以下「当社」)は、袖ヶ浦バイオマス発電株式会社<sup>\*1</sup>(本社:大阪府中央区、代表者:伊藤 宗博)が千葉県袖ヶ浦市で計画している国内最大級の 7.5 万 kW バイオマス専焼発電所建設に係る設計・調達・建設・試運転(EPC)業務を受注したことをお知らせします。

1. 顧客名: 袖ヶ浦バイオマス発電株式会社
2. 対象設備: 7.5 万 kW バイオマス専焼発電所及びバイオマス燃料の貯蔵サイロ設備
3. 建設地: 千葉県袖ヶ浦市
4. 発電方式: 再熱式循環流動床ボイラ＋スチームタービン発電機
5. 使用燃料: 木質ペレット
6. 運転開始: 2022 年 7 月(予定)
7. プロジェクト概要:

本プロジェクトは、旭化成株式会社の千葉工場内に建設するバイオマス専焼発電所と日本燐酸株式会社の事業所内に建設するバイオマス燃料の貯蔵サイロ設備一式の EPC 業務で、同発電所については商業運転開始後 2 年間の定期整備業務も請け負います。

発電設備については、再熱式循環流動床ボイラと高効率スチームタービン<sup>\*2</sup>を採用することで高効率発電を達成し、省エネルギー化を実現します。

当社は成長への新しい柱として「地球環境エンジニアリング事業」に注力しており、本プロジェクトは、①再生可能エネルギー分野に、高効率技術を導入することで更なる環境負荷の低減を実現すること、②多様化する電源設備への EPC 実績の拡充につながることから、当社の中長期ビジョンに沿った重要案件となります。

当社は、今後も長年に亘って国内外で培ったエンジニアリング・ノウハウと一貫した EPC 遂行能力を活かし、安全・品質・環境との調和を第一に、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

\*1 袖ヶ浦バイオマス発電株式会社は、大阪ガス株式会社の 100%子会社である株式会社ガスアンドパワーが本発電所の事業運営を目的に設立した会社です。

\*2 斗山重工業(英名:Doosan Heavy Industries & Construction、韓国)グループの循環流動床ボイラとスチームタービンの採用を検討しております。

以上

---

この件に関するお問い合わせ先 :IR・広報・CSR 部 塚本／横田  
電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-7748  
URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>